

被災 64 年 2018 年 3・1 ビキニデー集会アピール (案)

1954 年 3 月 1 日、アメリカがマーシャル諸島ビキニ環礁でおこなった水爆実験による被災から 64 年。私たちは、人類で初めて水爆実験の犠牲となった久保山愛吉さんの「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」との言葉を胸に、「第五福竜丸」の母港、焼津市に集い、核兵器全面禁止の決意を新たにしています。

ビキニ水爆の威力は、広島原爆の 1000 倍 (約 15 メガトン) に相当し、その「死の灰」はマーシャル諸島や同海域で操業していた日本漁船に降りそそいだけでなく、気流や海流によって太平洋からインド洋まで汚染し、甚大な被害を引き起こしました。広島・長崎に続いて三度核兵器による被害を体験した日本国民は、草の根から原水爆禁止の署名運動に立ち上がり、核兵器廃絶の世論を発展させてきました。

被爆者とともに 64 年にわたって核兵器の禁止・廃絶を求めてきた私たちの運動が、大きな成果を生み出しました。昨年 7 月 7 日、核兵器禁止条約が採択され、人類史上はじめて核兵器が明文上も違法化されたのです。そして、いま世界の圧倒的多数の国ぐにと市民社会が核兵器禁止条約を支持し、条約の早期発効めざしています。

一方、核保有国は追い詰められ、妨害をつよめています。なかでもアメリカのトランプ政権が公表した新たな核戦略「核態勢見直し (NPR)」は、核兵器の近代化とともに、使いやすい小型核兵器の開発を打ち出し、核先制攻撃も辞さないとしていることは重大です。核兵器廃絶の流れに逆行し、再び、ヒロシマとナガサキの惨禍を起こしかねない動きを許すことはできません。

日本政府が NPR を「高く評価する」(河野太郎外務大臣) など、米国の核政策に追随し、核兵器禁止条約に反対していることは被爆国にあるまじき態度です。すみやかに「核の傘」から抜け出して、核兵器禁止条約に署名、批准をおこなうべきです。

平昌オリンピックを機会に南北対話が再開されました。北朝鮮問題の話し合い解決に向けて、日本政府は、米朝の無条件対話、朝鮮半島の非核化にむけた交渉の開始をよびかけるべきです。

64 年前のビキニ署名の時のように、国民の共同の力で日本の流れを変えましょう。核兵器廃絶への国際連帯と国民的共同の歴史的大会として原水爆禁止 2018 年世界大会を成功させましょう。

被災 64 年 2018 年 3・1 ビキニデーを跳躍台に、全国の草の根から行動に立ち上がりましょう。

- ◇ 世界数億めざして「ヒバクシャ国際署名」を飛躍させましょう。
- ◇ 被爆者の証言活動、原爆写真展を全国各地で開催しましょう。
- ◇ ビキニ被災の全容解明を求め、被災船員の国家賠償訴訟を支援しましょう。
- ◇ 日本政府に核兵器禁止条約の支持、署名と批准を求める運動をひろげましょう。
- ◇ 原発再稼働に反対し、原発からの脱却と自然エネルギーへの転換を求めましょう。
- ◇ 戦争放棄の憲法 9 条を守りいかしましょう。
- ◇ 核兵器廃絶の願いで結ぶ平和行進をすべての自治体につなぎましょう。

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ビキニ、ノーモア・フクシマ
ノーモア・ヒバクシャ、ノーモア・ウオー